環境科学科科目表

科目区分		学部共通科目	卒業論文	自然・社会環境共通科目		自然環境共通科目	生態系基本科目	生態系（動物）科目	生態系（植物）科目	物質循環科目	社会環境基本科目		歴史・文化環境科目	精神環境科目	学部共通科目	学年ごとの人材育成目標
必修、選択の区別		必修	必修	必修	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	
						自然・社会環境科目（自然環境科目）	自然・社会環境科目（自然環境科目）	自然・社会環境科目（自然環境科目）	自然・社会環境科目（自然環境科目）	自然・社会環境科目（自然環境科目）	自然・社会環境科目（社会環境科目）	自然・社会環境科目（社会環境科目）				
1年次	前期	人間環境学 2 基礎ゼミナールⅠ 2 英語Ⅰ 2 情報実習Ⅰ 1 キャリアデザイン 2			共同フィールドワーク 1 地域連携ワーク 1 森林管理実習 1 海と川の生物学入門	環境リスク概論 2	生態系の機能と社会 2				現代社会と経済 2 企業会計Ⅰ 2	環境問題と基本的人権 2	日本美術文化論Ⅰ 2 日本の言語芸術と文化Ⅰ 2 中国の歴史と文化Ⅰ 2	心理学概論 2 心理学研究法 2 教育心理学※1 2 教育・学校心理学※2 2	海外大学単位互換科目Ⅰ 2 英会話Ⅰ 2 ドイツ語Ⅰ 2 中国語Ⅰ 2	自然環境や社会環境の仕組みを理解し，生態系，物質循環，社会環境の領域に係る基礎知識がある.
	後期	基礎ゼミナールⅡ 2 英語Ⅱ 2 情報実習Ⅱ 1			地域課題解決実習		環境と生物の進化 2			地球環境の化学像 2	経営学概論 2 経済学概論 2 企業会計Ⅱ 2		言語表現論 2 日本美術文化論Ⅱ 2 日本の言語芸術と文化Ⅱ 2 中国の歴史と文化Ⅱ 2	心理統計法 2 発達心理学 2 臨床心理学概論 2	英会話Ⅱ 2 ドイツ語Ⅱ 2 中国語Ⅱ 2 スポーツ実習 1	
2年次	前期			学術論文講読Ⅰ 2	農業基礎実習Ⅰ 2 エコ・フィールド社会実習 2 動物園・水族館実習	基礎数学 2 自然地理学 2	基礎生物学 2 緑化・栽培概論 2 緑地・植物学基礎実習 2			物質循環とエネルギー 4 基礎化学実験Ⅰ 2	環境経済学Ⅰ 2 環境経営 2 現代企業論 2 金融 2 財政 2 国際協力論 2	環境倫理 2 ゲーム理論 2 社会調査法Ⅰ 2 簿記論Ⅰ 2	日本美術文化論Ⅲ 2 日本の言語芸術と文化Ⅲ 2 中国の歴史と文化Ⅲ 2	学習・言語心理学 2 社会・集団・家族心理学 2 感情・人格心理学Ⅱ 2	英語Ⅲ 2 海外大学単位互換科目Ⅱ 1	生態系，物質循環，社会環境の3領域にわたる専門知識を広く理解する．これらの3領域のうち，特に関心のある領域を絞り込むことができる.
	後期			学術論文講読Ⅱ 2	農業基礎実習Ⅱ 2	統計処理法 4	植物生態学 2 動物生態学 2 動物学基礎実習 2			水環境での物質循環 4 基礎化学実験Ⅱ 2	環境経済学Ⅱ 2 環境と開発 2 地域経済 2	環境思想 2 社会調査法Ⅱ 2 簿記論Ⅱ 2	日本美術文化論Ⅳ 2 日本の言語芸術と文化Ⅳ 2 中国の歴史と文化Ⅳ 2	対人関係論 2	英語Ⅳ 2	
3年次	前期			演習Ⅰ 2	インターンシップ 1	地理情報処理法 2		動物行動学 2 野生動物保全学 2 動物学実習 2	植物学実習 2	森林と土壌環境での物質循環 4 環境化学実験Ⅰ 2	環境法制 2 経営分析 2	経済学史Ⅰ 2 ソーシャルビジネス論 2 水と緑の政策 2		感情・人格心理学Ⅰ 2 青年心理学 2 マスメディア心理学 2 産業・組織心理学Ⅰ 2 健康・医学心理学 2	ビジネスコミュニケーション 2	各人の興味，関心に応じて，生態系（動物），生態系（植物），物質循環，社会環境のどれかの領域に特化した知識を深く理解する．卒業研究のテーマを決め，これに関する情報を収集，整理できる.
	後期			演習Ⅱ 2			生物多様性 2	人間動物関係学 2	植物形態・分類学 2 緑地管理学 2 緑地学実習 2	土壌圏保全論 2 生態毒性 4 環境化学実験Ⅱ 2	エネルギーと文明史 2 環境政策 2 産業構造論 2	経済学史Ⅱ 2 環境社会学 2 山地災害論 2		知覚・認知心理学 2 教育・学校心理学Ⅱ 2 産業・組織心理学Ⅱ 2	キャリア形成演習 1	
4年次	前期			演習Ⅲ 2												卒業研究への取り組みを通して，特定領域について特化した体系的専門知識や技能を集約し，人間社会の発展と環境保全のバランスを考慮した発言と提案，行動ができる.
	後期			演習Ⅳ 2												
	通年		卒業論文 6													
身につく知識・能力		大学で学ぶ専門的な分野の諸課題を総合的にとらえるための学問的基礎を身につける。また、国際化・情報化が進展する社会で活躍するための基礎力を修得する。	各自の課題として取り組んだ事項を，論文を中心として発表も含めた形で他者に正確に伝える方法を修得する.	演習科目を中心として，卒業論文の作成のための知識と技術を修得する.	野外や学外での実習科目を中心として，地域社会や農業の実際について理解する.	生態系（動物）と生態系（植物）と物質循環との3領域に共通して必要とされる知識を修得する.	生態系（動物）と生態系（植物）との2領域に共通して必要とされる知識や技術について修得する.	生態系基本科目で学んだ生態学の知識や基礎的技術を踏まえ，野生動物の保全に関する高度な専門知識や技術を修得する.	生態系基本科目で学んだ生態学の知識や基礎的技術を踏まえ，植物の応用的利用に関する高度な専門知識や技術を修得する.	地球環境での物質循環の仕組みの理解と，物質循環に及ぼす人間活動の影響とに関する知識や技術を，基礎から専門レベルに渡り修得する.	環境保全に配慮した経済社会の仕組みに関する知識を，基礎から専門レベルに渡り修得する.	社会環境基本科目に加え，環境保全に配慮した経済社会の仕組みに関してさらに幅広い知識を修得する.	人間が生活する歴史・文化的な側面での人間環境についての基礎知識を修得する.	現在の個人と社会との心理学的な側面での人間環境についての基礎知識を修得する.	グローバルな視野を持ち、国際社会に貢献するための基礎的技能を完成する。また、企業・地域社会などに寄与する活動能力の基礎を完成する。	

※1　2017年度（平成29年度）入学生用科目
※2　2018年度（平成30年度）および転・編入生用科目